

18歳意識調査 「第1回 - 18歳成人 -」要約版

日本財団 コミュニケーション部

2018年10月1日

目次

調査概要	3
成人年齢引き下げについての賛否	5
自分を「大人」「子ども」と思う理由	6
成人年齢引き下げについての意見	7
成人年齢引き下げの認知	8
成人年齢引き下げ内容把握 正答率トップ5	9
成人年齢引き下げ内容把握 正答率ワースト5	10
18歳以下で適用して良いと思う内容	11
18歳ではまだ早いと思う内容①	12
18歳ではまだ早いと思う内容②	13
成人になったらやってみたいこと	14

調査概要「18歳意識調査」 - 18歳成人 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	133	133	134	400
女性	133	133	134	400
計	266	266	268	800

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2018年9月7日（金）～9月9日（日）

調査手法 インターネット調査

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

要約

成人年齢引き下げについての賛否

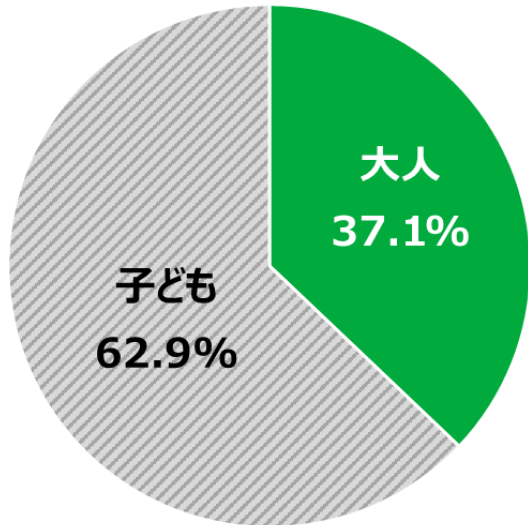
18歳の6割が自分を「子ども」と考えている

- 自分を「子ども」と感じている人は62.9%。「子ども」と感じている人の方が多い。

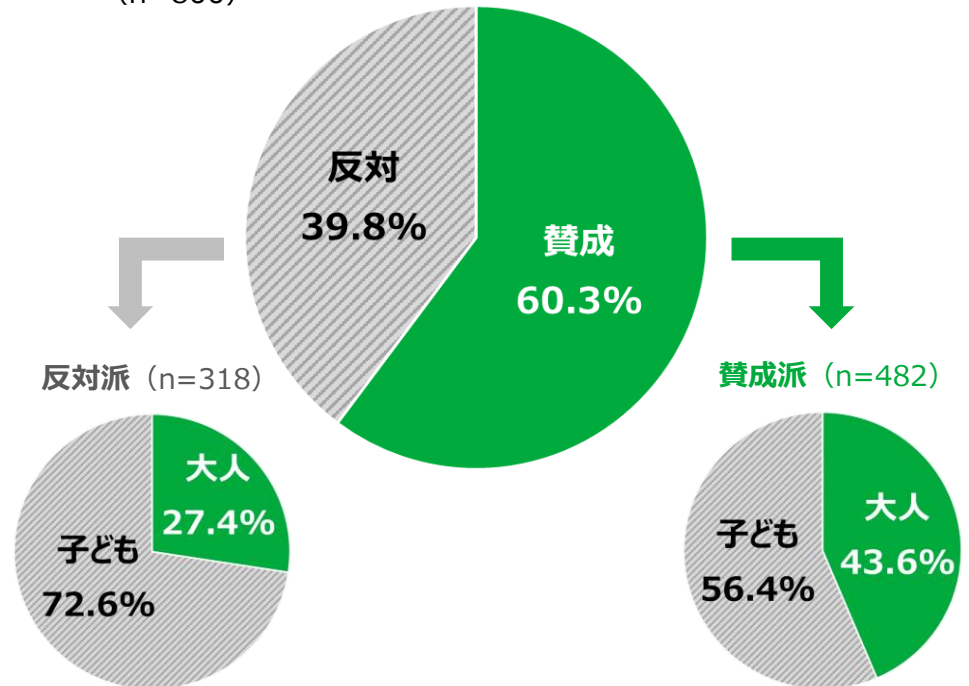
成人年齢が18歳に引き下げられることについては、6割が「賛成」

- 成人年齢が18歳に引き下げられることについては、60.3%が「賛成」。
- 「反対派」は自分のことを「子ども」と考えている人が「賛成派」よりも多い。

Q あなたは、ご自身のことを「大人」だと思えますか、「子ども」だと思えますか。
(n=800)



Q あなたは、2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられることについて、「賛成」ですか「反対」ですか。
(n=800)



自分を「大人」「子ども」と思う理由

自分を「大人」と思う理由は「身体は『大人』と変わらないから」(42.8%)がトップ

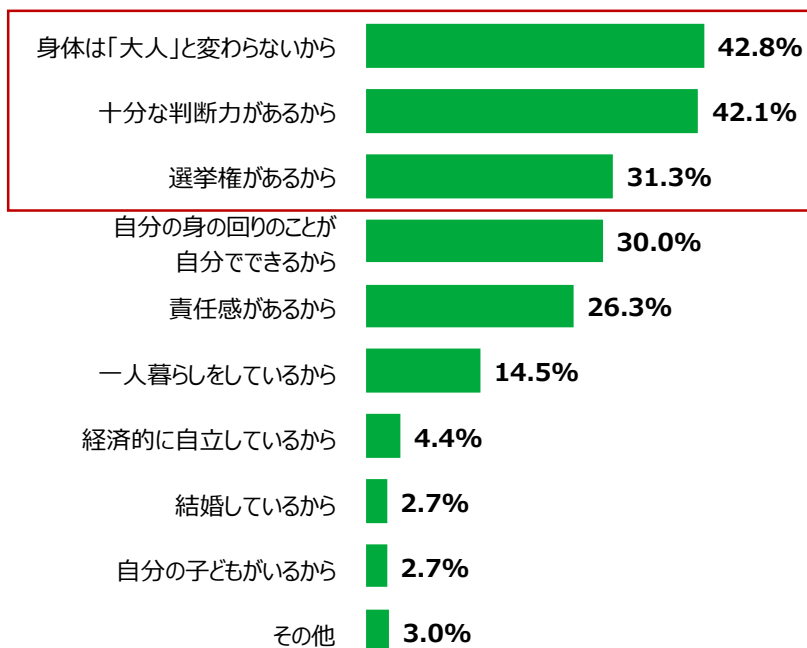
- ・次いで、「十分な判断力があるから」(42.1%)、「選挙権があるから」(31.3%)が上位。

自分を「子ども」と感じる理由は「経済的に自立していないから」(61.8%)がトップ

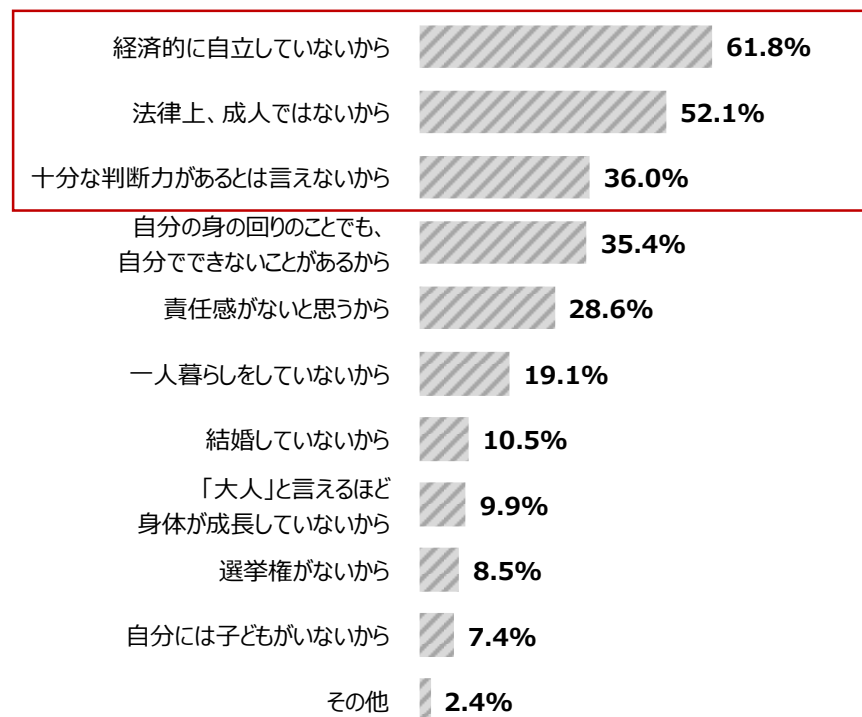
- ・次いで、「法律上、成人ではないから」(52.1%)、「十分な判断力があるとは言えないから」(36.0%)が上位。

Q (前問：あなたは、ご自身のことを「大人」だと思えますか、「子ども」だと思えますか。)では、なぜそう思いますか。理由としてあてはまるものをお選びください。

大人 (n=297)



子ども (n=503)



成人年齢引き下げについての意見

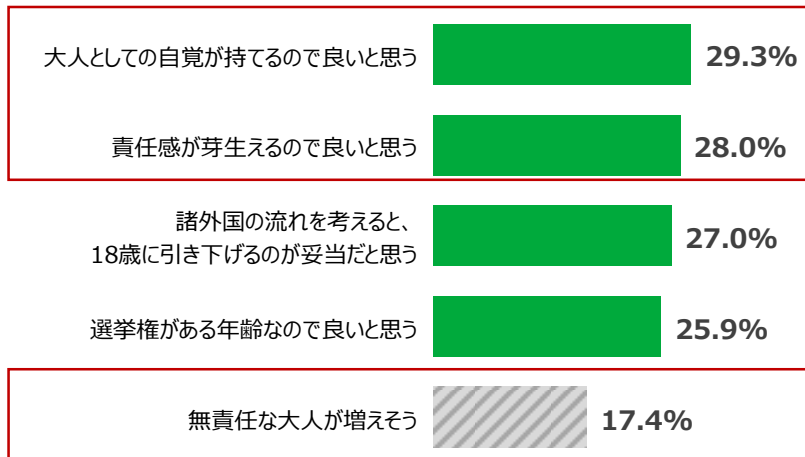
「賛成派」の意見は「大人としての自覚が持てる」「責任感が芽生える」

一方「反対派」の意見は「無責任な大人が増えそう」「大人としての自覚を持っていない人多そう」

- 「賛成派」のみの回答でも「無責任な大人が増えそう」が上位に挙がっており、賛成派でも少なからず不安は感じている様子が見受けられる。
- 「賛成派」「反対派」それぞれの意見の中で、「大人としての自覚」「責任感」に言及する意見が多い。「大人としての自覚が持てるかどうか」「責任ある行動がとれるかどうか」が“成人”の分かれ目と考えられていると言える。

Q 成人年齢を「18歳」に引き下げることにについてどのように思いますか。

賛成派 (n=482) トップ5



反対派 (n=318) トップ5



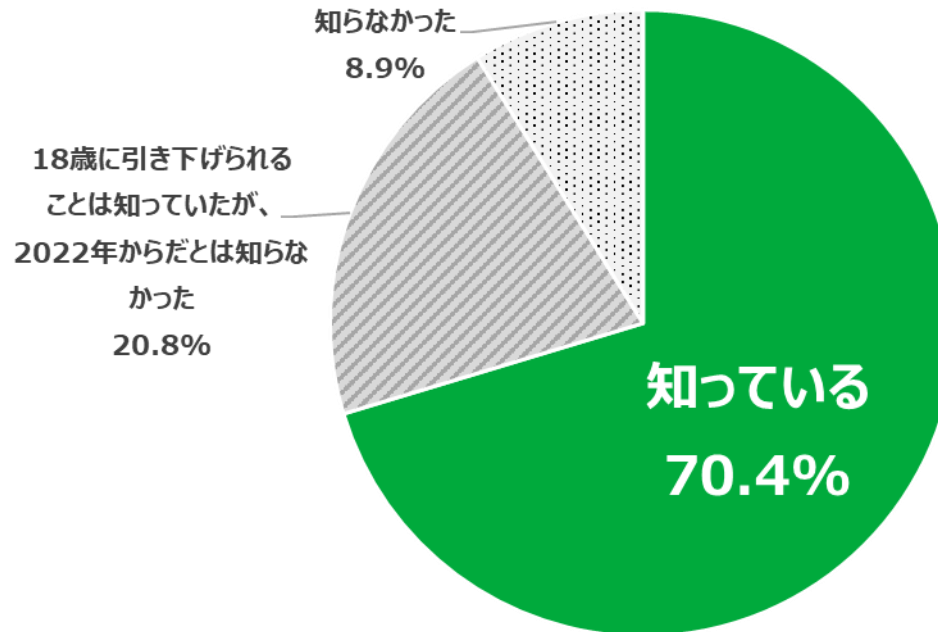
※ポジティブな内容の意見は 、ネガティブな内容の意見は  で色分け

成人年齢引き下げの認知

全体の約7割が2022年に成人年齢が引き下げられることを認知

- 約7割は認知。約2割が時期を知らなかったと回答。

Q 2022年4月に成人年齢が「18歳」に引き下げられます。そのことをご存知でしたか。(n=800)



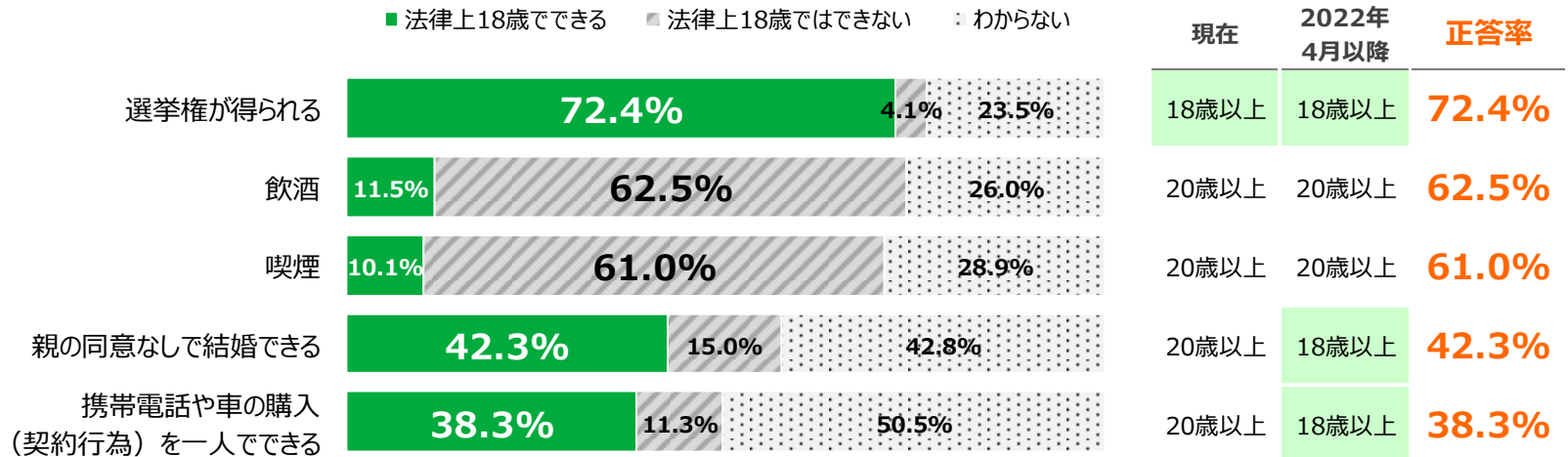
成人年齢引き下げ内容把握 正答率トップ5

正答率が高いものは「選挙権が得られる」18歳でできる→72.4% がトップ

- 他、「飲酒」できない→62.5%、「喫煙」できない→61.0%、「親の同意なしの結婚」できる→42.3%、「携帯電話や車の購入（契約行為）」できる→38.3% などが正答率が高い。

Q 2022年4月以降、18歳の人々が法律上どのようなことができるようになるかご存知ですか。（n=800）

正答率 トップ5



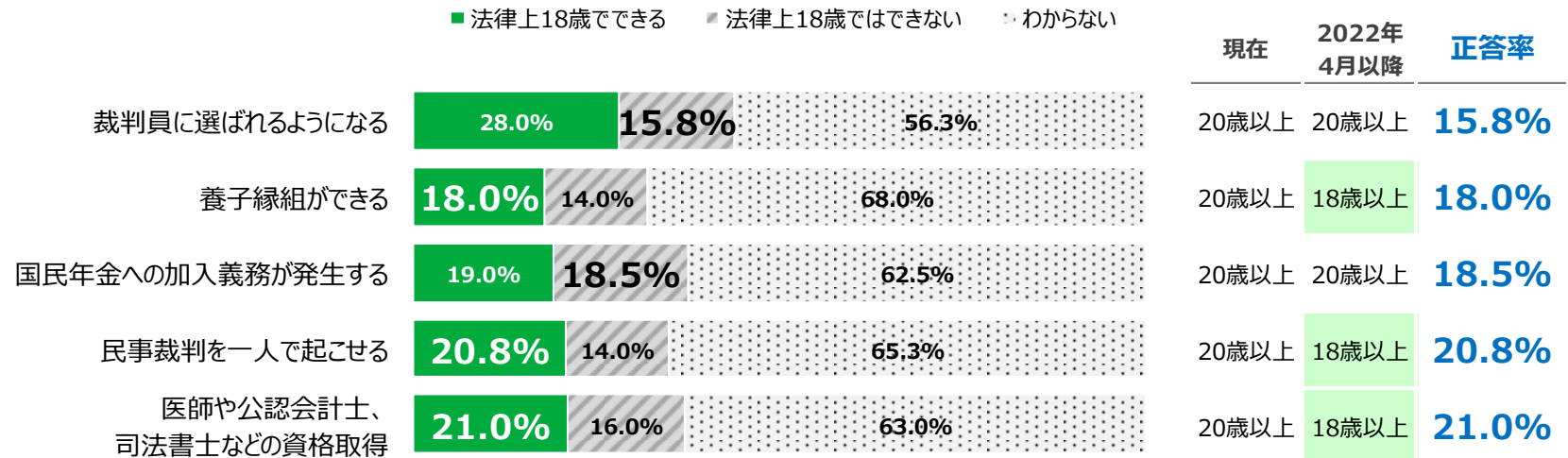
成人年齢引き下げ内容把握 正答率ワースト5

正答率が低いものは、「裁判員に選ばれる」18歳ではできない→15.8%

- 他、「養子縁組」できない→18.0%、「国民年金への加入義務」ない→18.5%、「民事裁判を一人で起こせる」できる→20.8%、「医師や公認会計士、司法書士などの資格取得」できる→21.0% などが正答率が低い。
- これらは、半数以上が「わからない」と回答。

Q 2022年4月以降、18歳の人が法律上どのようなことができるようになるかご存知ですか。 (n=800)

正答率 ワースト5



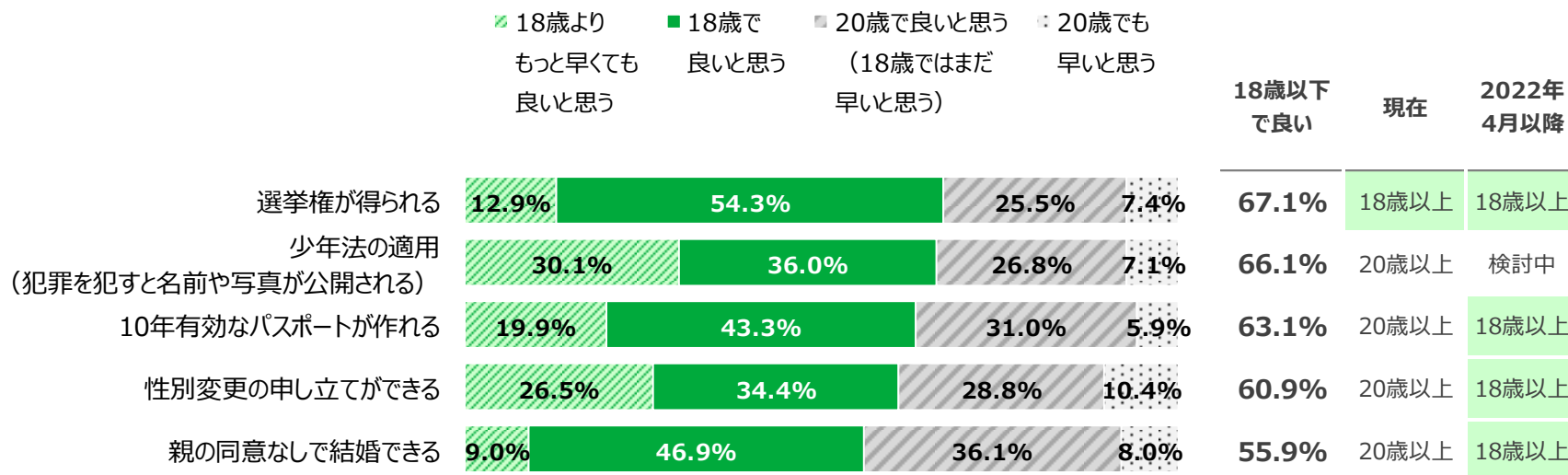
18歳以下で適用して良いと思う内容

「少年法（犯罪を犯すと名前や写真が公開される）」については、6割以上が18歳以下で適用して良いと回答

- 18歳以下で適用して良いという回答が多いものは、「選挙権」「少年法（犯罪を犯すと名前や写真が公開される）」「10年有効なパスポートが作れる」「性別変更の申し立て」「親の同意なしで結婚」など。
- これらは、半数以上が「18歳以下で良い」と答えた。

Q 以下の内容について、現在の法律上できる、できないに関わらず、「18歳」で適用してもよいと思いますか。（n=800）

「18歳以下で良い」トップ5



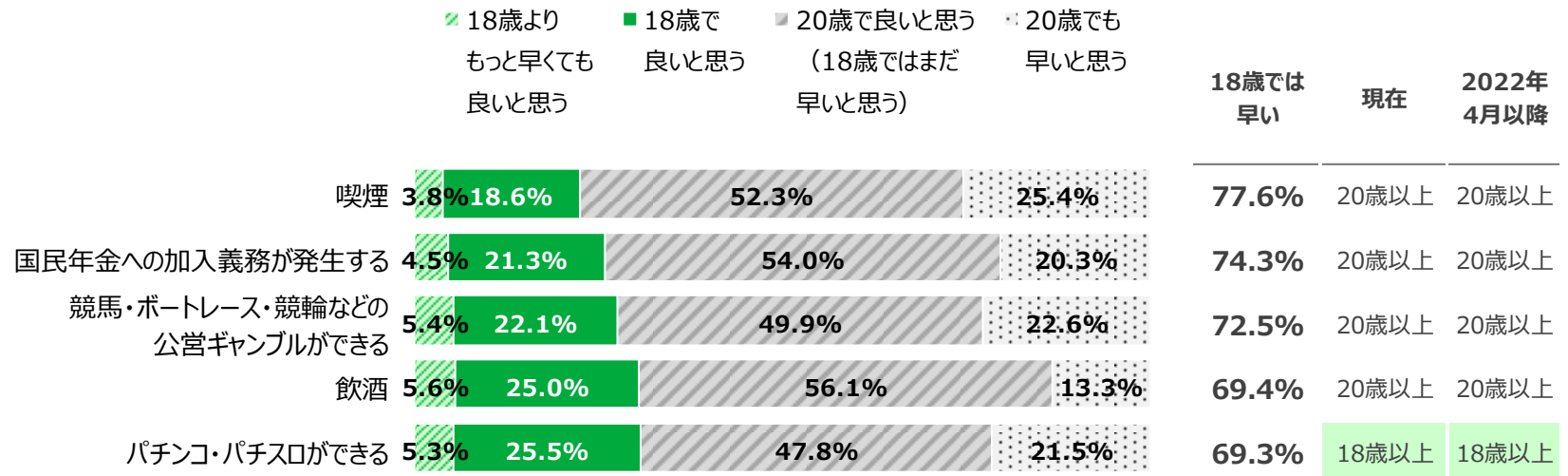
18歳ではまだ早いと思う内容①

「喫煙」「飲酒」の他、「ギャンブル」「パチンコ・パチスロ」も多くが「18歳では早い」と回答

- まだ18歳では早いという回答が多いものは、「喫煙」「国民年金への加入義務」「公営ギャンブルができる」「飲酒」「パチンコ・パチスロができる」など。
- これらは、約7割が「18歳ではまだ早い」と答えた。

Q 以下の内容について、現在の法律上できる、できないに関わらず、「18歳」で適用してもよいと思いますか。(n=800)

「18歳では早い」トップ5



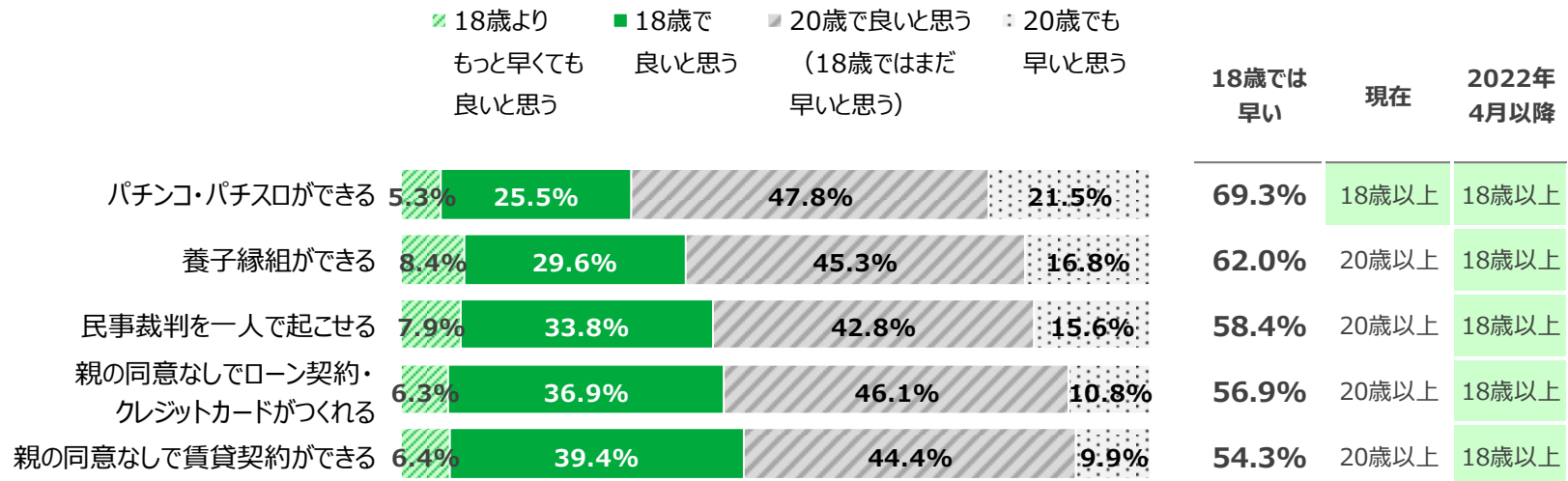
18歳ではまだ早いと思う内容②

「パチンコ・パチスロ」は現在も18歳で法律上できるが、7割近くが「18歳では早い」と回答

- 法改正以降18歳で法律上できるが、半数以上が「18歳では早い」と回答しているものは、「パチンコ・パチスロ」「養子縁組」「民事裁判を一人で起こせる」「親の同意なしでローン契約・クレジットカードがつくれる」「親の同意なしで賃貸契約ができる」。
- 一人で契約行為ができてしまうことへの不安が見受けられる。

Q 以下の内容について、現在の法律上できる、できないに関わらず、「18歳」で適用してもよいと思いますか。(n=800)

法改正以降18歳で法律上できるが、半数以上が「18歳では早い」と回答しているもの



成人になったらやってみたいこと

約3割が、やってみたいことは「特にない」と回答

- ・ 自分が「成人」になってみたらやってみたいこととしては、「飲酒」（41.8%）がトップ。
- ・ 「喫煙」は3.4%と低い。

Q ご自身が「成人」になったら、まずやってみたいことをお選びください。（n=800）

